

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）		事務事業							
		番号	施策名	番号	事務事業名	評価 区分	評価				
I 市民と行政との協働によるまちづくり	市民主体のまちづくりの推進	2	コミュニティ活動の推進	3	町内会連合会補助事業	1次	A	市民主体のまちづくりの推進およびコミュニティ活動の推進を進める上で、町内会連合会と連携した事業展開を、現状のまま継続する必要があると考える。			
						WG	A	1次評価のとおり			
						外部	A	1次評価のとおり			
						2次	A	1次評価のとおり			
				4	地域連絡協議会等活動支援事業	1次	A	地域特性を活かしたより良いまちづくりを推進し、地域コミュニティの推進を進めるため、現状の支援は必要であると考え			
						WG	A	1次評価のとおり			
						外部	A	1次評価のとおり			
						2次	A	1次評価のとおり			
		3	広報・広聴活動の充実と情報公開	6	多様な媒体による広報の推進	1次	A	平成29年度実施の名寄市広報のあり方検討委員会でいただいた市民意見を参考に、引き続き、市民が名寄を好きになってもらえる広報紙の作成に取り組む。			
						WG	B	外注できる部分があるのではないかと。外注によりホームページ、フェイスブック等の充実、わかりやすい紙面、情報発信にもつながると思われる。高齢者向けの情報発信の要望もある。			
	外部					B	引き続き、市民が名寄を好きになってもらえる広報紙の作成に取り組んでいただくとともに、高齢者向けの情報発信についても研究していただきたい。				
	2次					B	情報を発信する担当課も様々な機会を捉えて積極的に情報発信していただくなど連携を図り、より効果的な情報発信となるよう改善していく。				
	7			多様な広聴機会の創出	1次	B	多くの市民意見の聴取の機会が必要である。				
					WG	B	1次評価のとおり				
					外部	B	1次評価のとおり				
					2次	B	1次評価のとおり				
					2	男女共同参画社会の形成	9	男女共同参画推進事業	1次	A	平成29年度からの新規事業でもあり、今後も継続することで市民の意識に浸透すると考える。
									WG	B	表彰という手段が妥当かどうかも含め、検討する余地があると考え
	外部	A	受賞事業者から取組が評価された、職員のモチベーションの向上に役立っているとの声があることから、表彰制度は一定の効果があると考えられるので継続した取組をお願いしたい。								
	2次	A	表彰制度が、新聞等に表彰式の様子が掲載されることで広く周知され、市民や企業に対し男女共同参画推進への意識付けのきっかけとなった。今後はPDCAを回しながら、当面表彰制度は継続とする。								
交流活動の推進	1	国内交流の推進	12	名寄市・鶴岡市姉妹都市交流事業	1次	A	藤島地域を中心とした交流から鶴岡市全体との交流に進展するよう、市民団体が行う訪問事業、少年少女交流事業、物産交流事業等を側面から支援していくことは必要と考える。				
					WG	B	交流人口の拡大が目的の1つとなっているが、成果が見えにくい。活動を交流人口拡大につながる道筋も描きながら、アウトカムとして参加者数などの指標を設定することも検討していただき、実績の検証も行いながら進めてほしい。				
					外部	A	交流事業は目標設定が困難である。事業内容に問題があるわけではないが、交流団体の活動や趣旨が当事者以外には見えにくく、今後とも情報発信に努めてほしい。一方、交流が長年続いていることに関係者の努力が表れており、これからも継続してほしい。				
					2次	A	外部評価のとおり				
			14	ふるさと会交流事業	1次	A	会員の高齢化が進む中、今後とも各ふるさと会の活動が円滑に行われるとともに、東京なよろ会以外でも会員増強に向けた新たな取組が始まるよう、名寄市の支援は必要である。				
					WG	B	成果目標を設定するのが難しい事業ではあるが、各ふるさと会は名寄市の発展に寄与することも目的の1つとされているので、活動内容を名寄市民に知ってもらうための支援もしながら、可能であれば何らかの指標も設定し、成果を確認しながら進めてほしい。				
					外部	A	これからも地域の応援団として、都会でのPRや情報発信をしてもらえるように行政で活用してほしい。また名寄から出て行った人が参加しやすい仕組みを作るなどし、いすれUIJターンの移住につながるように活用できればなお良い。				
					2次	A	今後とも広報のダイジェスト版を年3回送付する際に、合わせて送付する資料がないか他部署に照会するほか、会員増強活動に対する支援を引き続き行ってほしい。				

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）		事務事業				
		番号	施策名	番号	事務事業名	評価 区分	評価	
I 市民と行政との協働によるまちづくり	交流活動 の推進	2	国際交流 の推進	17	名寄市・台 湾交流事業	1次	B	これまで市が主体的な役割を担うことで、台湾との交流を推進してきたが、今後は民間団体が主体的に事業を行うことができるよう、民間団体への交流窓口や推進体制の一本化が必要であるため。
						WG	C	子どもの育成と地域の活性化という目的のうち、地域の活性化について成果が見えにくかった。事業主体を民間に移した後も、成果や活動指標の設定を依頼するなどし、市民に効果を説明できるよう支援していただきたい。
						外部	B	交流活動の主体を市から民間団体に移す過渡期であるため、必然的に進め方の改善は必要。民間団体が主体となつてからは、今後の展望を示しつつ成果が見えるような活動を期待する。
						2次	B	外部評価のとおり
		3	移住の推 進	18	移住促進事 業	1次	C	完全移住を目標としながらも、完全移住までにはいたらなくても、避暑地としての二地域居住・シーズンステイなどで交流人口が増えることにより、地域消費の増加といった経済的効果が見込まれることから、継続していくことが必要。
						WG	C	事業の目的は移住者の獲得である。シート上では移住者がどれだけ獲得できたかについては不明であるが、成果が出ていないとすれば事業内容の大幅な見直しが必要ではないか。
						外部	C	移住施策を進める上で種をまく取組として必要な事業であるので、規模の縮小などはせずに継続を希望する。名寄の独自性にこだわりすぎず、他地域の先進事例も参考にしながら進め方を検討してはいかかか。
						2次	C	継続して取り組む必要はあるが、移住の種類を整理し、他自治体の成功事例を参考にしながら、名寄市として何をやるべきか明確にしていく必要がある。
	広域行政 の推進	1	圏域市町 村との連 携の推進	19	定住自立圏 推進事業	1次	A	平成29年度より重要業績評価指標（KPI）として具体的な数値目標を掲げて各施策に取り組んでおり、各年度毎に進捗管理をしながら、現状のまま継続することが望ましいと考える。
						WG	A	担当課のみならず全庁的に、国の施策等、情報を共有できる仕組みづくりを。
						外部	A	1次評価のとおり
						2次	A	1次評価のとおり
	健全な財 政運営	6	財政運営 の効率化	20	ふるさと納 税の推進	1次	A	これまでもふるさと納税制度の趣旨に沿った運用を行ってきた。本市の安心安全な農作物やおいしいスイーツなど、地域ブランドとしての名寄市の知名度アップに繋げていくと共に、自主財源の確保策としても有効な施策の一つとして考えているため、今後も継続して実施していく必要がある。
						WG	A	1次評価のとおり
						外部	A	1次評価のとおり
						2次	A	1次評価のとおり
		21	名寄市公共 施設等総合 管理計画の 着実な推進	1次	B	財政状況も考慮しながら、市民の方が真に必要で利便性の良い公共施設、公共インフラとするため、今まで以上に議論を加速させる必要がある。		
				WG	B	全庁的な議論が必須であり、スケジュール設計が必要と考える。		
				外部	B	1次評価のとおり		
				2次	B	1次評価のとおり		
効率的な 行政運営	3	職員の能 力向上	23	研修事業	1次	B	派遣研修及び職場研修に積極的に取り組み、職員的能力向上を継続的に進めていくことは不可欠である。なお、自主研修に対する体制の改善整備については、今後新たな取り組みを行う必要がある。	
					WG	B	1次評価のとおり	
					外部	B	1次評価のとおり	
					2次	B	1次評価のとおり	

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）		事務事業				
		番号	施策名	番号	事務事業名	評価 区分	評価	
Ⅱ市民みんなが安心して健やかに暮らせるまちづくり	健康の保持増進	1	健康づくりの推進	26	生活習慣病予防等活動事業	1次	A	生活習慣病の発症及び重症化予防を図るために、若い世代から健康づくりの取り組みを推進する事業は重要であり、現行どおり継続していく必要がある。
						WG	A	若い世代の参加や達成が重要となっていることから、若い世代の参加率についての指標設定や、アプローチの工夫を検討してはどうか。
						外部	A	1次評価のとおり
				2次	A	1次評価のとおり		
				27	がん検診事業	1次	A	がんの早期発見・早期治療に有効ながん検診の受診促進に向けて、検診年齢を引き下げ、検診費用の助成や通年で受診が可能な体制を確保してきており、継続が必要な事業である。
						WG	A	1次評価のとおり
		外部	A			1次評価のとおり		
		2次	A	1次評価のとおり				
		2	母子保健対策の推進	29	母子健康支援・親子教室事業	1次	A	子どもの健やかな発達と安心して妊娠・出産・子育てが行えるための重要な事業であり、事業への受診率が高く、現状のまま継続が必要。
	WG					A	1次評価のとおり	
	外部					A	1次評価のとおり	
	2次					A	1次評価のとおり	
	3	感染症対策の推進	30	感染症対策事業	1次	A	個別接種の実施や対象に応じた周知勧奨により、高い接種率で推移しているため、感染症の発症及び重症化予防につながっており、現状のまま継続していく必要がある。	
					WG	A	1次評価のとおり	
					外部	A	1次評価のとおり	
					2次	A	1次評価のとおり	
	地域医療の充実	1	地域医療機関相互の連携強化	32	道北北部連携ネットワークの拡大	1次	A	病院間における診療情報を共有することによって、地域住民の救命率向上と患者の負担軽減が図られていることから重要な事業である。
						WG	A	1次評価のとおり
						外部	A	1次評価のとおり
						2次	A	1次評価のとおり
		2	診療基盤と経営基盤の強化	34	医療スタッフの充実	1次	B	地域医療確保のため重要な役割を果たしており、人的資源が不足する地域医療や地域保健健診についても維持・確保が図られている。
WG						B	長期的に働き続けてもらうための環境づくりも検討事項に加えてはどうか。	
外部						B	市立大学看護学科との更なる連携を図り、看護師確保に向けた取組を進めて頂きたい。	
2次						B	当院に継続勤務いただけるよう、研修・教育体制等の充実を図るなど、働きやすい職場環境づくりを目指す。また、学資金制度においても現状分析した上で、貸付金額や期間についても検討していく。	
子育て支援の推進	1	子育て支援施策の充実	41	市立保育所における食育の推進	1次	A	年間を通じての食育の取組となってきていることから、現状のまま継続。	
					WG	A	1次評価のとおり	
					外部	A	1次評価のとおり	
					2次	A	1次評価のとおり	
			42	名寄市要保護児童地域対策協議会の運営	1次	A	代表者、実務者会議を定期的実施できており、関係機関との連携を図ることが出来ている。しかし、虐待通告の件数は全国的にも増加傾向にあることから、市町村としての虐待対応の重要性は高いことから、要対協の活動を継続しすることで、児童虐待防止及びケースの重篤化防止のためには欠かすことの出来ない事業である。	
					WG	A	1次評価のとおり	
					外部	A	1次評価のとおり	
					2次	A	1次評価のとおり	
			43	民間特定教育・保育施設への運営支援	1次	A	全ての園が新制度へ移行したが、今後は認定こども園化に向けて進めていく。	
					WG	A	1次評価のとおり	
					外部	A	1次評価のとおり	
					2次	A	1次評価のとおり	

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）		事務事業				
		番号	施策名	番号	事務事業名	評価 区分	評価	
Ⅱ 市民みんなが安心して健やかに暮らせるまちづくり	子育て支援の推進	1	子育て支援施策の充実	48	家庭児童相談事業	1次	A	相談などの支援をおこなっている実人数は減少傾向にあるがケース解決までの対応回数は増加している。全国的にも虐待件数は増加傾向にあり、軽微なケースについて児童相談所からの逆送致もある可能性があることから、本市の児童虐待防止のためには欠かすことの出来ない事業である。
						WG	A	1次評価のとおり
						外部	A	1次評価のとおり
						2次	A	1次評価のとおり
		2	こどもの発達支援の充実	50	相談支援事業	1次	A	現在実施している療育支援と相談支援は事務所が併用となっており、相談支援事業は中立性を保つ意味でも事務所を分ける必要があるが、現在の施設では限界がある。今後、民間事業者による相談支援事業の受け入れを検討していく必要があるが、一方で、国は地域の障がい児支援の拠点施設の整備を求めていることから、国の動向を把握し検討する必要があるため、当面現状のまま継続とする。
						WG	A	1次評価のとおり
						外部	A	1次評価のとおり
				51	こども発達支援事業	1次	A	こどもの発達にあわせた療育を実施するにあたり、安定した事業運営を図るため定住自立圏共生ビジョンに基づく広域連携により実施しており、現状のまま継続とする。
						WG	A	1次評価のとおり
						外部	A	1次評価のとおり
	52	障がい児教育・保育への支援	1次	A	保育士の確保が難しい状況だが、全ての施設が療育支援加算の給付対象施設となったことから現状のまま継続とする。			
			WG	A	幼児同様に高齢者に対する取組みも検討してほしい。			
			外部	A	1次評価のとおり			
	地域福祉の推進	2	市民との協働による福祉のまちづくりの推進	54	名寄市保健医療福祉推進協議会の運営	1次	A	福祉行政推進のための外部機関として、必要性が非常に高い。
						WG	A	1次評価のとおり
						外部	A	1次評価のとおり
						2次	A	1次評価のとおり
		3	福祉関係団体との連携強化	55	社会福祉協議会運営事業費補助金	1次	B	地域福祉の推進のためである一方、法改正に伴う社会福祉充実財産残額の解消は直近の課題と考える。
						WG	B	1次評価のとおり
						外部	B	社会福祉協議会の役割は重要であり、現行の補助金は維持して地域福祉の推進に向けた取組を進めて頂きたい。
2次						B	社会福祉協議会が地域福祉の推進に果たす役割は重大であると考えことから、現行の補助制度維持が必要。外部評価の意見から現状のまま継続とする。	
4	生活に困っている人への包括的支援の充実	58	低所得者の冬の生活支援事業（福祉灯油支援事業・冬の生活支援事業）	1次	B	原油価格、電気料金の変動に注視することに加え、各種福祉サービスとの公平性・整合性の観点からも再検討の余地を残している。		
				WG	C	低所得者対策ではあるが、公平性、整合性の検討が必要とあり、対象者について施設入所の方と在宅生活の方が同等か、原油料金と電気料金による整合性、年によって違う価格等、規模や内容について見直しが必要と思われる。		
				外部	C	施設入所は国・道から扶助費が支給されていることから見直しが必要である。		
				2次	C	施設入所等に係る国・道からの投入費用等を確認し、公正公平な制度となるよう施設入所者に対する支給について検討が必要。		
高齢者施策の推進	1	介護保険サービスの推進	59	一般介護予防事業	1次	A	何らかの支援を要する高齢者を早期に把握し、介護予防活動へつなげることができ、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できる地域の構築に必要である。	
					WG	A	1次評価のとおり	
					外部	A	1次評価のとおり	
					2次	A	1次評価のとおり	
	60	認知症総合支援事業	1次	A	認知症サポーターを養成することにより、認知症の方やその家族の地域生活の支援につながり、地域全体で受容できる環境づくりが図られる。			
			WG	A	1次評価のとおり			
			外部	A	1次評価のとおり			
			2次	A	1次評価のとおり			

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）		事務事業						
		番号	施策名	番号	事務事業名	評価 区分	評価			
Ⅱ 市民みんなが安心して健やかに暮らせるまちづくり	高齢者施策の推進	1	介護保険サービスの推進	61	介護予防・生活支援サービス事業	1次	A	介護予防・日常生活支援総合事業は、市町村が中心となり、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することにより地域の支え合いの体制づくりを推進するもので、今年度は初年度ということもあり、第7期高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画に基づき事業を展開するものである。		
						WG	A	1次評価のとおり		
						外部	A	1次評価のとおり		
						2次	A	1次評価のとおり		
				62	地域見守りネットワーク事業・徘徊高齢者SOSネットワーク事業	1次	A	地域における認知症高齢者の見守り体制の確立と徘徊高齢者の安全確保につながっている。		
						WG	A	1次評価のとおり		
						外部	A	1次評価のとおり		
						2次	A	1次評価のとおり		
				63	介護人材確保緊急対策事業	1次	B	介護職員不足解消に一定の効果があった。成果を踏まえて内容の見直しが必要である。		
		WG	B			人材確保を目的に、他課でも実施をしており、整合性を図ることも検討が必要と思われる。				
	外部	B	1次評価のとおり							
	2次	B	1次評価のとおり							
	2	高齢者福祉の推進	67	除雪サービス事業	1次	B	経済的な理由で委託困難な高齢者等世帯への支援につながっている。平成29年度からスタートした屋根雪おろし費用助成は、内容の精査が必要である。			
					WG	B	1次評価のとおり			
					外部	B	1次評価のとおり			
					2次	B	1次評価のとおり			
	障がい者福祉の推進	2	地域生活支援体制の充実	74	重度障害者ハイヤー料金助成事業／重度視力障害者電話料金助成事業	1次	A	障がい者の自立した生活や社会参加を進めていく上で、必要不可欠な外出ができることや、連絡できる環境があることで、安心して地域で生活することができることから、今後も継続していく必要がある。		
						WG	A	1次評価のとおり		
						外部	A	1次評価のとおり		
						2次	A	1次評価のとおり		
75				一般介護予防事業	1次	A	地域における障がいに係る総合的な相談支援を行うことで、障がいの有無に関わらず誰もが安心して暮らせることに結びついており、今後もネットワークの強化を図りながら事業を継続していくことが必要である。			
					WG	A	1次評価のとおり			
					外部	A	1次評価のとおり			
					2次	A	1次評価のとおり			
77				一般介護予防事業	1次	A	現行の体制で任期の2年間取組、定期的な部会の会や研修を開催することで、障がい者の支援体制の整備や関係機関との連携強化を図ることができた。一定の成果を達成したと考えており、次期については、部会の開催数等を見直しながらも、継続的に取り組み、障がい者等を取り巻く課題抽出や改善について検討をしていくことが必要である。			
		WG	A		1次評価のとおり					
		外部	A		1次評価のとおり					
		2次	A		1次評価のとおり					
3		就労支援の充実	78	名寄市障害者自立支援協議会（就労支援部会）の運営	1次	A	現行の体制で任期の2年間取組、定期的な部会の会や研修を開催することで、障がい者就労の拡大を図ってきており一定の成果を達成していることから、次期については、部会の開催数等を見直しながらも、継続的に取り組み、障がい者就労の拡大を推進することが必要である。			
					WG	A	1次評価のとおり			
					外部	A	1次評価のとおり			
	2次				A	1次評価のとおり				
	79		名寄市障害者自立支援協議会（就労支援部会）の運営	1次	A	現行の体制で任期の2年間取組、定期的な部会の会や研修を開催することで、障がい者が適正に働けるよう支援をすることができた。一定の成果を達成したと考えており、次期については、部会の開催数等を見直しながらも、継続的に取り組み、障がいのある人が能力を十分に発揮して働くことができるよう総合的に支援をしていくことが必要である。				
				WG	A	1次評価のとおり				
外部	A	1次評価のとおり								
2次	A	1次評価のとおり								

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）		事務事業								
		番号	施策名	番号	事務事業名	評価 区分	評価					
Ⅱ 市民 みんが 安心し て健 やかに	障がい者 福祉の推 進	4	生活環境 等整備の 充実	80	名寄市障害 者自立支援 協議会（相 談支援権利 擁護部会） の運営	1次	A	現行の体制で任期の2年間取組、定期的な部会の会や研修を開催することで、障がい者に係る緊急時の支援体制整備や関係機関との連携強化を図ることができた。一定の成果を達成したと考えており、次期については、部会の開催数等を見直しながらも、継続的に取り組み、課題抽出や改善について検討をしていくことが必要である。				
						WG	A	1次評価のとおり				
						外部	A	1次評価のとおり				
							2次	A	1次評価のとおり			
	国民健康 保険	1	国民健康 保険事業 の運営	82	後発医薬品 の使用促進	1次	A	後発医薬品の使用促進については、都道府県単位化後の保険者努力支援の中で国から指標、目標値が示されており、達成することで調整交付金に反映され加入者の負担軽減に繋がる。				
						WG	A	1次評価のとおり				
						外部	A	1次評価のとおり				
										2次	A	1次評価のとおり
				84	データヘル ス計画に基 づく特定健 診・特定保 健指導	1次	A	受診率が向上することで生活習慣病などの早期発見、重症化予防に繋がり医療費の適正化を図ることができる。また、都道府県単位化後は国から示されている指標、目標値を達成することで、調整交付金に反映され加入者の負担軽減に繋がる。				
						WG	A	1次評価のとおり				
外部	A	1次評価のとおり										
						2次	A	1次評価のとおり				
Ⅲ 自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり	環境との 共生	2	良好な環 境づくり	87	火葬場整備 事業	1次	A	公共の福祉の見地から、永続的に必要な事業です。				
						WG	A	1次評価のとおり				
						外部	A	1次評価のとおり				
						2次	A	1次評価のとおり				
	3	新エネル ギーの導 入・省エ ネルギー の推進	89	エネルギー に関する講 習会等の開 催による普 及啓発	1次	B	15人の募集に対して13人の参加となり定員に達しなかった。					
					WG	B	環境生活課と連携した事業施行が望ましいと考える。					
					外部	B	国民生活における環境負荷軽減に向けた啓発事業が重要である。					
					2次	B	平成29年度は事業内容変更後、初めての取組であったため準備不足な点があった。次年度はこれら反省点を生かし、小学生への環境問題に対する意識付けのきっかけづくりと、市民への啓発へ繋がる事業となるよう改善を目指す。					
	循環型社 会の形成	1	3R運動 の推進	90	資源集団回 収奨励金交 付事業	1次	A	多くの町内会、子ども会、団体等が資源回収に参画できる意義は高い。				
						WG	A	1次評価のとおり				
						外部	A	1次評価のとおり				
								2次	A	1次評価のとおり		
		2	廃棄物の 適正処理	93	次期処理施 設の整備の 検討	1次	A	本構想をもって関係市町村との協議に入るための、重要な位置づけとなる業務である。新ごみ処理施設整備に向けた入口の段階であることから、関係市町村との協議、市民説明等、慎重に進めていく必要がある。				
						WG	A	1次評価のとおり				
						外部	A	1次評価のとおり				
							2次	A	1次評価のとおり			
3		環境美化 の推進	94	分別・資源 化啓発事業	1次	A	市民が正しい分別を行うために必要な施策である。平成30年4月の名寄地区広域最終処分場の供用開始に伴って、ガイドブックの変更は要しないと判断した。ガイドブックは、予定どおり平成31年度の更新を行えるよう、市民に分かりやすい内容に配慮しながら準備を進めていく。					
	WG				A	1次評価のとおり						
	外部				A	1次評価のとおり						
						2次	A	1次評価のとおり				
防災対策 の充実	1	国土保全 の推進	98	河川愛護事 業	1次	B	高齢に伴い作業の担い手が減少しつつある。また、名寄地区と風連地区とで作業方法の違いなどがあり、今後内容の見直しを進める。					
					WG	B	1次評価のとおり					
					外部	B	1次評価のとおり					
									2次	B	1次評価のとおり	
			99	樋門管理委 託事業	1次	A	洪水災害を防ぐため、必要な事業。					
					WG	A	1次評価のとおり					
外部	A	1次評価のとおり										
						2次	A	1次評価のとおり				

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）		事務事業						
		番号	施策名	番号	事務事業名	評価 区分	評価			
Ⅲ自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり	防災対策 の充実	2	災害応急 対応の充 実	102	防災力向上 に関する取 組	1次	A	名寄市単独の事業ではないことや、現状において代替えの研修などもないため継続することが望ましい。		
						WG	A	1次評価のとおり		
						外部	A	1次評価のとおり		
						2次	A	1次評価のとおり		
		3	災害予防 対策の充 実	104	自主防災組 織育成・地 域防災リー ダー育成事 業	1次	A	市民からのニーズも増えてきていることから継続が必要。		
						WG	A	1次評価のとおり		
						外部	A	1次評価のとおり		
						2次	A	1次評価のとおり		
		106	地域防災力 向上事業	1次	A	着実に地域の防災力は向上していると考えが、まだまだ組織率が低いことから、継続した取り組みが必要。				
				WG	B	目標設定が妥当かどうか検討の余地あり。仮に全町内会に自主組織を立ち上げるとすると、今のペースでは数十年を要する。				
				外部	B	自主防災組織なので行政からの強制力はなく、町内会が自ら組織いただけるアプローチが大切である。防災組織を立ち上げた後の活動を見据えて、準備が整った町内会から随時進めて頂きたい。				
				2次	B	町内会自らが組織設立・活動いただけるような支援が必要である。準備段階からの積極的な関わりや支援などを継続することが望ましい。				
	交通安全	1	交通安全 意識の高 揚	107	体系的な交 通安全教育 の実施	1次	A	交通安全を実現する為には、名寄市交通安全運動推進委員会、名寄警察署、交通安全活動団体、町内会、教育関係等と連携し、事故のない安全で住み良い地域社会を市民と共に目指す必要がある。		
						WG	A	交通安全教育ではあるが、交通安全運動の一環であるので、調書番号108「全市民参加の交通安全運動の実施」と併せて事業をまとめてはどうか。		
						外部	A	1次評価のとおり		
						2次	A	1次評価のとおり		
				108	全市民参加 の交通安全 運動の実施	1次	A	交通安全を実現する為には、名寄市交通安全運動推進委員会、名寄警察署、交通安全活動団体、町内会、教育関係等と連携し、事故のない安全で住み良い地域社会を市民と共に目指す必要がある。		
						WG	A	指標、事務事業点検についてほぼ同様でもあり、交通安全を一体的に取り組む事業として、調書番号107「体系的な交通安全教育の実施」と併せた事業としてはどうか。		
						外部	A	1次評価のとおり		
						2次	A	1次評価のとおり		
				109	官民一体の 運動推進の 体制強化	1次	A	交通安全を実現する為には、名寄市交通安全運動推進委員会、名寄警察署、交通安全活動団体、町内会、教育関係等と連携し、事故のない安全で住み良い地域社会を市民と共に目指す必要がある。		
						WG	A	1次評価のとおり		
						外部	A	1次評価のとおり		
						2次	A	1次評価のとおり		
生活安全	1	生活安全 意識の高 揚	112	情報の収 集・提供	1次	A	市民の安全確保のために、名寄警察署、商工会議所等の関係機関、団体と連携し、適切な情報の収集及び提供に努め、各学校、教育委員会、警察署、防犯協会などと協力し情報の収集、提供を行う必要がある。			
					WG	A	1次評価のとおり			
					外部	A	1次評価のとおり			
					2次	A	1次評価のとおり			
	2	関係機 関・団体 との連携 強化と対 策	113	地域情報の 把握・分析	1次	A	犯罪のない安心で安全して暮らせるまちづくりのためには、安全安心円卓会議、安全安心地域づくり推進協議会等、地域や関係機関と連携し、情報の収集、迅速・正確な情報の提供を行う必要がある。			
					WG	A	事務事業点検の評価が全て「b」となっているが、判定理由の説明を考慮すると事務事業点検評価も「a」でよいと思われる。			
					外部	A	1次評価のとおり			
					2次	A	1次評価のとおり			

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）		事務事業				
		番号	施策名	番号	事務事業名	評価 区分	評価	
Ⅲ 自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり	消費生活 の安定	1	消費者利益の擁護	117	広域消費生活センター運営事業	1次	A	消費生活相談は消費者行政の重要な位置付けであり、消費者の利益の擁護・増進という消費者保護を実現するうえでも必要不可欠な活動である。相談員の相談技術のレベルアップがより多くの市民に有益な結果をもたらすと考えられるので、相談員の配置とその資質向上は今後も継続して行く。
						WG	A	1次評価のとおり
						外部	A	1次評価のとおり
				2次	A	1次評価のとおり		
		2	消費者啓発の推進	118	消費生活講演会等開催事業	1次	A	消費者一人ひとりが正しく適切な情報を基に、消費生活に関する知識を適切な行動に結び付けてもらえるよう、消費生活に関するセミナーや出前講座を展開している。このことで消費生活センターに相談しトラブルを未然に回避するという意識が芽生え、ひいて消費者が安心安全な生活を営むことができるようその一助となる。
						WG	A	1次評価のとおり
	外部					A	1次評価のとおり	
			2次	A	1次評価のとおり			
	住宅の整備	1	住宅計画の推進	121	名寄市住宅関連計画策定業務	1次	A	人口や世帯の変動などから、国や市政の住宅政策の転換など定期的な見直しを進めることが必要である。
						WG	A	1次評価のとおり
						外部	A	1次評価のとおり
						2次	A	1次評価のとおり
		2	公営住宅の適正管理	122	公営住宅整備事業（北斗団地、新北斗団地）	1次	A	整備事業として計画どおり進捗。
						WG	A	1次評価のとおり
			外部	A	1次評価のとおり			
			2次	A	1次評価のとおり			
	都市環境 の整備	2	美しい市街地の形成	127	緑化木の維持管理	1次	A	まち並みの景観を維持するために必要な事業。
						WG	A	1次評価のとおり
						外部	A	1次評価のとおり
						2次	A	1次評価のとおり
	上水道の 整備	1	安定供給の確保	131	水源開発事業（サンルダム負担金）	1次	A	今後の水道水の安定供給のためには必要である。
						WG	A	1次評価のとおり
						外部	A	1次評価のとおり
						2次	A	1次評価のとおり
				132	上水道第2期拡張事業（給水区域拡張のための管水更新）	1次	A	将来にわたる安定供給や水質を確保するために継続して必要。
						WG	A	1次評価のとおり
						外部	A	1次評価のとおり
						2次	A	1次評価のとおり
133				浄水場等施設改修事業	1次	A	計画的に施設改修を実施することで、信頼性の高い水道水の安定供給が確保できる。	
					WG	A	1次評価のとおり	
					外部	A	1次評価のとおり	
					2次	A	1次評価のとおり	
136		名寄市水道事業中期経営計画（経営戦略）の推進	1次	A	中長期的な経営の基本計画の策定・推進であるため、継続的な進捗管理が必要である。			
			WG	A	1次評価のとおり			
	外部		A	1次評価のとおり				
	2次		A	1次評価のとおり				
2	水質の保全維持	137	取水施設改修事業	1次	A	計画的に施設改修を実施することで、信頼性の高い水道水の安定供給が確保できる。		
				WG	A	1次評価のとおり		
				外部	A	1次評価のとおり		
				2次	A	1次評価のとおり		
下水道・個別排水 の整備	1	施設の整備	139	公共下水道事業	1次	A	妥当性、効率性ともに適正であり、今後も現状どおり執行することが望ましい。	
					WG	A	1次評価のとおり	
					外部	A	1次評価のとおり	
					2次	A	1次評価のとおり	

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）		事務事業					
		番号	施策名	番号	事務事業名	評価 区分	評価		
Ⅲ 自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり	下水道・ 個別排水 の整備	2	施設の維 持管理	140	不明水対策 事業	1次	A	調査結果が出るまでは、成果が発揮されるか不透明な部分はあるものの、全体として適正であり、今後も現状どおり執行することが望ましい。	
						WG	A	1次評価のとおり	
						外部	A	1次評価のとおり	
						2次	A	1次評価のとおり	
				141	処理場の主 要機器整備 修繕事業	1次	A	整備による機器の延命化、故障に対応する迅速な修繕によって、安定した稼働を維持している。	
						WG	A	1次評価のとおり	
		外部	A			1次評価のとおり			
		2次	A			1次評価のとおり			
		3	資源の有 効利用	142	資源の有効 利用	1次	A	下水汚泥を肥料として有効利用することで、産業廃棄物処分経費が削減となっている。	
	WG					A	1次評価のとおり		
	外部					A	1次評価のとおり		
	道路の整 備	4	生活道路 の整備	146・ 147	市街地の道 路整備 郊外地の道 路整備	1次	A	国の方針により進捗状況は左右されるが、市民要望に応えるため事業完了に向け継続することが必要である。	
						WG	A	1次評価のとおり	
						外部	A	1次評価のとおり	
						2次	A	1次評価のとおり	
		5	市道の維 持事業	149	市道防塵処 理事業	1次	A	道路の維持管理を行うために、必要な事業。	
						WG	A	1次評価のとおり	
						外部	A	1次評価のとおり	
						2次	A	1次評価のとおり	
				150	市道路面整 正事業	1次	A	道路の維持管理を行うために、必要な事業。	
						WG	A	1次評価のとおり	
						外部	A	1次評価のとおり	
						2次	A	1次評価のとおり	
				151	市道砂利散 布事業	1次	A	道路の維持管理を行うために、必要な事業。	
						WG	A	1次評価のとおり	
						外部	A	1次評価のとおり	
						2次	A	1次評価のとおり	
		152	市道路肩草 刈事業	1次	A	道路環境保全を図るため、必要な事業。			
				WG	A	1次評価のとおり			
				外部	A	1次評価のとおり			
2次				A	1次評価のとおり				
158		道路維持機 械整備事業	1次	A	道路の維持管理を行う上で、必要な事業。				
			WG	A	1次評価のとおり				
			外部	A	1次評価のとおり				
			2次	A	1次評価のとおり				
6		橋梁の整 備	160	橋梁長寿命 化整備事業	1次	A	国の方針で進捗状況は左右されるが、市民の安心安全なまちづくりのために事業完了に向け継続することが必要である。		
					WG	A	1次評価のとおり		
					外部	A	1次評価のとおり		
					2次	A	1次評価のとおり		
地域公共 交通		2	2	公共交通 の整備・ 確保と利 用促進	162	デマンドバ ス運行委託 事業	1次	A	代替の交通手段がなく、地域の公共交通確保のため今後も継続が必要。
							WG	A	1次評価のとおり
	外部						A	1次評価のとおり	
	2次						A	1次評価のとおり	
	164		地域の実情 を考慮した 効率的な交 通手段の検 討	1次	A	地域公共交通を実情に応じて確保していくために地域協議する組織が今後も必要とされる。			
				WG	A	1次評価のとおり			
				外部	A	1次評価のとおり			
				2次	A	1次評価のとおり			
消防	2	283	消防施設更 新事業	1次	A	消防車両については、消防力の整備指針及び消防計画に基づき、老朽化して更新時期をむかえる車両から随時更新していく必要がある。			
				WG	A	1次評価のとおり			
				外部	A	1次評価のとおり			
				2次	A	1次評価のとおり			

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）		事務事業				
		番号	施策名	番号	事務事業名	評価 区分	評価	
IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり	農業・農村の振興	1	収益性の高い農業経営の確立	165	農道整備事業	1次	A	農道の役割は、農業の生産性向上等と強く結びつくほか、地域では生活道路としての役割も強く、地域からの改良要望も大きい。地域農業の発展には、農作業の省力化が不可欠であることから計画的に農業の改良を実施する必要がある。
						WG	A	1次評価のとおり
						外部	A	1次評価のとおり
						2次	A	1次評価のとおり
				166	国営造成施設管理体制整備促進事業	1次	A	本市の農業形態にあつて、農業用水を確保することは重要である。農業人口の減少や農業政策の転換（減反）により、農業水利施設を管理する土地改良区は管理体制を維持することが難しくなっている。同施設は、防災面での役割も期待されるため支援を継続する必要がある。
						WG	A	1次評価のとおり
						外部	A	1次評価のとおり
						2次	A	1次評価のとおり
				169	市営牧場整備事業	1次	A	今後も飼養環境の改善を進めるため、餌の供給体制の整備や給餌施設の整備、老朽化した設備の改修、草地の更新、などを計画的め機能強化を進めていく必要がある。
						WG	A	1次評価のとおり
						外部	A	1次評価のとおり
						2次	A	1次評価のとおり
	171	農業振興センター事業	1次	A	農業分野では常に新しい品種や栽培技術が公表され、名寄の気候に合ったものを選定していく必要がある。また、そうした取組により収益性の向上を図る事が、農業経営を安定させていく事から、引き続き試験・研究と結果に基づく指導に取組んでいく必要がある。			
			WG	A	1次評価のとおり			
			外部	A	1次評価のとおり			
			2次	A	1次評価のとおり			
	2	多様で持続可能な農業経営の促進	175	農業振興資金融資事業	1次	C	経営改善に必要な資金調達を支援することで、円滑な経営が達成されている。今後は融資の基準について、利用者のニーズに合わせ随時見直しをしていく必要はある。	
					WG	C	1次評価のとおり	
					外部	B	事業の進め方や限度額など、利用者のニーズに応えるために関係者間で協議し、今後の方向性について検討してほしい。制度としては有効であるので継続してほしい。	
					2次	B	農業経営の安定や改善に必要な制度であり、利用者ニーズを踏まえて制度内容を見直し改善を図る。	
	3	農業担い手の育成と確保	177	担い手育成支援事業	1次	A	平成29年度から、JAとの協調において農業後継者の早期安定とスムーズな経営継承に向けた取組みに対し支援を行った。対象者へ直接周知したことにより積極的な事業の活用に繋がっている。	
					WG	A	1次評価のとおり	
					外部	A	1次評価のとおり	
					2次	A	1次評価のとおり	
178		新規就農者確保対策事業	1次	A	平成29年度からJAとの協調により、新規就農者の早期定着のための支援を見直した。JA、農業改良普及センター等関係機関と新規就農者支援チームを作り、毎月の巡回訪問の中で肥培管理等作業のアドバイスや相談等に応じ、新規就農者の疑問や不安の解消の一助となった。今後は就農前に安定的なりハーサル農業ができる環境整備についても検討が必要と思われる。			
			WG	A	1次評価のとおり			
			外部	A	1次評価のとおり			
			2次	A	1次評価のとおり			
5	豊かさや活力ある農村の構築	181・182	農業・農村交流促進事業	1次	A	地産地消に係るイベントには多くの方が参加し消費拡大の促進が図られ、農業体験では農業への理解を深めてもらうと共に、名寄市の農畜産物のファンを増やし食育の推進に繋がっている。		
				WG	A	1次評価のとおり		
				外部	A	1次評価のとおり		
				2次	A	1次評価のとおり		

基本目標	主要施策	基本事業（施策）		事務事業				
		番号	施策名	番号	事務事業名	評価区分	評価	
IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり	森林保全と林業の振興	1	森林利用の促進及び人材育成	183	森林整備担い手対策事業（森林作業員就業条件整備事業）	1次	A	森林整備の担い手である森林作業員の就労条件を良くすることは、森林整備の推進はもとより、地域への定住促進や山村振興対策などにつながることから今後も継続する必要がある。また、北海道の要領により実施されている事業のため継続が望ましい。
						WG	A	1次評価のとおり。ただし、仕事量はある程度予測がつく事業だと思うので、今後確保しなければならない人工（にんく）など明確にして、目標設定ができるとなお良いと思う。
						外部	A	1次評価のとおり
						2次	A	1次評価のとおり
	2	民有林の施業促進	184	民有林林業振興推進事業	1次	A	森林所有者の負担軽減と優良森林資源の確保に向け、民有林における間伐の推進は有効である。	
					WG	A	1次評価のとおり。ただし、整備が行き届いていない森林面積がどのくらいあるのか不明。定量的に目標設定できるとなお良い。	
					外部	A	1次評価のとおり	
					2次	A	1次評価のとおり	
	商業の振興	1	商業の活性化	189	住宅改修等推進事業補助金	1次	B	現状では、高い成果を上げているが、本事業は当初より3カ年（H28～H30）の時限立法としており、市民ニーズ・事業者ニーズを分析した上で、移住・定住、中小企業振興施策等横断的な次期施策を構築することとしている。
						WG	B	1次評価のとおり
						外部	A	経済の活性化のみならず、不足している建設業技術者育成の呼び水としても重要な役割を果たしている。人材の育成には時間がかかることから、長期的な視野に立って事業の継続を希望する。
						2次	B	利用者・事業者からのニーズ、市民の住環境整備、市内経済の活性化、建設技術者育成の観点から、より効果的となるような施策の改善を検討する。
	商業の振興	2	商業経営基盤の強化	193	創業支援事業	1次	B	平成27年度に産業競争力強化法に基づく創業計画策定以降、創業相談及び総業者数は計画を上回る実績となっている。
						WG	B	1次評価のとおり
				外部		B	1次評価のとおり	
				2次		B	1次評価のとおり	
		285	事業承継事業	1次	B	国の動向を見据えながら、名寄市としての事業を構築していくこととしている。		
				WG	B	1次評価のとおり		
	外部	B	地域金融機関との連携、支援なども検討して欲しい。					
	2次	B	国の動向を見据えながら、名寄市としての事業を構築していくこととしている。					
工業の振興	2・3	企業立地の推進、技術開発の支援	197・198・199・202	情報化の促進・起業の促進・企業立地の推進・産業集積の促進（企業立地促進条例）	1次	B	名寄市企業立地促進条例に基づく支援は、多く活用されている実績となっている。ただし、市外からの企業誘致は合併以降1件となっている。また、企業立地促進法の一部改正により地域未来投資促進法が成立・施行されたことから、国の法律に沿った事業転換が必要である。	
					WG	B	1次評価のとおり	
					外部	B	1次評価のとおり	
					2次	B	1次評価のとおり	
雇用の安定	1	雇用の安定と確保	203	雇用促進事業	1次	A	人口減少、少子高齢化の進行に伴い景気低迷が続く中、求人倍率は回復傾向にありますが、業種ごとにアンバランスが生じており、企業活動の原動力となる労働力も雇用形態の多様化が進み、安定した労働力の確保の点からも今後も継続した事業が必要である。	
					WG	A	1次評価のとおり	
					外部	A	1次評価のとおり	
					2次	A	1次評価のとおり	
	2	労働条件の改善	204	退職金制度普及及び促進事業（中小企業振興条例）	1次	A	自衛隊員の再就職は名寄市の人口減少にも直結しており、今後も継続して必要と考える。退職金共済制度加入事業は経営者の負担軽減、労働者の安心の構築となっており今後も継続して必要と考える。	
					WG	B	中小企業退職金共済加入補助金は制度をしっかりと周知するなどして、実績を上げられるよう工夫すべき。	
					外部	B	退職金共済制度については十分に浸透しているとは言えない。これまで以上にしっかりと周知してほしい。または何らかの直接的な支援を検討しても良いのかもかもしれない。	
					2次	B	より効果的な周知方法を検討することとし、取組は継続。	

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）		事務事業				
		番号	施策名	番号	事務事業名	評価 区分	評価	
IV 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり	雇用の安定	4	雇用能力 開発	207	人材開発セ ンター活用 促進事業	1次	A	職業知識の習得、各種能力開発の促進に努めており、今後も継続して運営していくことが必要である。
						WG	A	1次評価のとおり
						外部	A	1次評価のとおり
						2次	A	1次評価のとおり
	観光の振興	2	観光事業 の充実	211	観光事業推 進団体支援 事業	1次	B	名寄市観光振興計画を平成28年度に見直し、平成33年度の目標達成まで新たな事業展開が必要であり、また、国・道の観光施策が大きく転換していることから、観光事業推進団体と更なる連携・協調した事業振興が必要である。
						WG	C	高額の事業費を投じているが、地域住民が実感するほどの効果は出ていないように感じる。事業内容を見直すべきはないか。
						外部	B	経済効果のみで判断すれば評価は厳しいものとなるが、事業費には地域特性イベント実施事業費（調書No.212）も含んでおり、地域住民に寄与していることなども考えると、客観的な評価が必要である反面、経済効果のみでは測れない。
						2次	B	古くから地域に親しまれるイベントについては、市民の満足度向上に努めるとともに、地域資源を活かした観光誘致活動については、広域連携も含め、さらなる交流人口拡大へ向けた取組が必要である。
				212	地域特性イ ベント実施 事業	1次	B	人口減少に伴い、市民の入込数の減少も見込まれるが、イベント開催事業費は横ばいで推移している。今後、実行委員会とイベント事業費の見直し等の協議も必要である。
						WG	C	地域のイベントであるので、地域住民の満足度を主目的に据えて、市外からの入込による経済効果は副次的なものに過ぎない、あるいは無くても良いと考えたほうが地域のイベントとしては成功するのではないか。
						外部	B	市外からの入込をはかる事業と市民のためのイベントで、目標を分けて設定しても良いのかもしれない。
						2次	B	古くから地域に親しまれるイベントについては、市民の満足度向上に努めるとともに、地域資源を活かした観光誘致活動については、広域連携も含め、さらなる交流人口拡大へ向けた取組が必要である。
				213	スキー場整 備（圧雪 車）	1次	A	幅広い年齢層や競技に対応したグレンデ整備を実施している。
						WG	A	1次評価のとおり
						外部	A	1次評価のとおり
						2次	A	1次評価のとおり
				214	スキー場事 業（リフト 修繕）	1次	B	スキー場の安心・安全な運営は出来ているものの、平成29年シーズンにはオープン前に第4ロマンズリフトの故障が発覚し運休となった。
						WG	B	第4ロマンズリフトの運休によってチケット売上にどのように影響したのかが不明。
外部	B	1次評価のとおり						
2次	B	1次評価のとおり						
3	観光誘致 宣伝	284	広域観光事 業	1次	B	国・道及び他市町村等による広域団体の統廃合は困難。NPO法人なよろ観光まちづくり協会が事務局を勤める道北観光連盟においては、事業のマンネリ化が見られ、今後の位置付け又は事業目的等を検討する必要がある。		
				WG	C	各団体の活動内容を周知し効果（観光入込客数増）が上がるよう検討いただきたい。		
				外部	B	1次評価のとおり		
				2次	B	1次評価のとおり		
V 文化を育む力と豊かな 文化を育むまちづくり	1	就園の奨 励	218	幼稚園の子 ども・子育て 支援新制度 への移行 支援	1次	A	全ての園が新制度へ移行したが、今後は認定こども園化に向けて進めていく。	
					WG	A	1次評価のとおり	
					外部	A	1次評価のとおり	
					2次	A	1次評価のとおり	
	2	幼・保・ 小及び各 機関との 連携	219	幼児支援体 制の充実	1次	A	全ての園が小学校との連携を図り、継続してかわりが持てるように対応してきているため、現状のまま継続していく。	
					WG	A	1次評価のとおり	
					外部	A	1次評価のとおり	
					2次	A	1次評価のとおり	

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）		事務事業					
		番号	施策名	番号	事務事業名	評価 区分	評価		
V 生きる力と豊かな文化を育むまちづくり	小中学校 教育の充実	1	「生きる力」を育てる教育の推進	220	教育改善プロジェクト委員会推進事業	1次	B	授業改善と望ましい生活のリズムの定着のための取組を工夫改善し、児童生徒の学力向上を目指す必要がある。	
						WG	B	1次評価のとおり	
						外部	B	児童生徒の学力向上に向けて、原因・問題を分析・把握して戦略的に取組を進めて頂きたい。	
						2次	B	名寄市教育改善プロジェクト委員会を中心として、市内の小中学校が一体となった学力向上の取組をさらに推進したい。また、本事業の学力向上以外の側面についても、指標設定等を検討する。	
				224	特別支援教育連携協議会事業	1次	A	文科省の指定事業を受けることによって、名寄市特別支援連携協議会による取組がより充実するため。	
						WG	A	1次評価のとおり	
						外部	A	1次評価のとおり	
						2次	A	1次評価のとおり	
						227	外国青年（外国語指導助手）招致事業	1次	A
		WG	A	1次評価のとおり					
		外部	A	1次評価のとおり					
		2次	A	1次評価のとおり					
		2	信頼される学校づくりの推進	228	コミュニティ・スクールの導入	1次	A	コミュニティ・スクール推進委員会の設置等による取組や名寄市教育改善プロジェクト委員会による制度理解を深める取組を現状のまま継続することで、目標を達成できるため。	
						WG	A	1次評価のとおり	
						外部	A	1次評価のとおり	
	2次					A	1次評価のとおり		
	3	安全安心な教育環境の整備	231	スクールバス運行事業	1次	A	学校統廃合後の必要・不可欠な対策であり、小中学校の統廃合により適正配置が進んできている。		
					WG	A	1次評価のとおり		
					外部	A	1次評価のとおり		
					2次	A	1次評価のとおり		
			232	小中学校施設補修・耐震事業	1次	A	各学校トイレの洋式化は、単年度での整備は難しいが、最低でも1年に1箇所程度は実施していきたい。屋根の塗装については、多額の経費がかかることから、財政状況を勘案しながら進めていきたい。		
					WG	A	1次評価のとおり		
					外部	A	1次評価のとおり		
					2次	A	1次評価のとおり		
					234	給食センター厨房設備等整備事業	1次	A	学校給食の安定提供には必要な事業である。
							WG	A	1次評価のとおり
	1	就学機会の確保	235	名寄市高校生資格取得支援事業	1次	B	助成の在り方など、実績等を踏まえ実効のある制度にしていかなければならない。		
					WG	B	1次評価のとおり		
外部					B	1次評価のとおり			
2次					B	1次評価のとおり			
生涯学習 社会の形成	1	社会教育計画の策定	242	名寄市社会教育推進計画の策定・推進	1次	A	社会教育委員の会における議論を重ね、総合計画に連動し、平成30年度における課題等に即した推進計画を策定することができた。		
					WG	A	1次評価のとおり		
					外部	A	1次評価のとおり		
					2次	A	1次評価のとおり		
	3	生涯学習プログラムの整備と学習への支援	245	自主的学習活動支援事業	1次	A	生涯学習社会の形成のため、既存の各サークルの充実と新規のサークルの支援は、市民活力を引き出す為にも必要であり、各団体の普及啓発活動への支援は今後も必要である。		
					WG	A	1次評価のとおり		
					外部	A	1次評価のとおり		
					2次	A	1次評価のとおり		
			247	高齢者学級運営事業	1次	A	高齢者が自己の能力を開発し、現代社会に対応し充実した生活を送るため、多様な学習内容のカリキュラムを組み実施している。また、公開講座は、学生のみならず、市民誰でも参加できる講座を開催している。学生数の確保について急激な改善は困難だが、継続して魅力あるカリキュラムの構築やPRを行う。		
					WG	A	1次評価のとおり		
外部	A	1次評価のとおり							
2次	A	1次評価のとおり							

基本目標	主要施策	基本事業（施策）		事務事業							
		番号	施策名	番号	事務事業名	評価区分	評価				
V 生きる力と豊かな文化を育むまちづくり	生涯学習社会の形成	4	天体観測を活かしたまちづくり事業	250	天文教育普及事業	1次	A	平成22年度オープン以来、北海道大学、石垣島天文台、台湾の台北市天文科学教育館との協力、また杉並区との交流関係強化などをしていく中で、学校教育・社会教育施設として役割を果たしており、多くの方が訪れているため継続といたします。			
						WG	A	1次評価のとおり			
						外部	A	1次評価のとおり			
	家庭教育の推進	1	家庭と地域の教育力の向上	254	自然体験・親子ふれあい推進事業	1次	A	子育てと青少年健全育成を地域で守り育てる為、各関係機関が協力しながら事業を展開していく必要がある。			
						WG	A	他部署主催事業との日程調整方法の検討を。			
						外部	A	1次評価のとおり			
	青少年の健全育成	1	青少年健全育成事業	264	子どもの体験学習事業	1次	A	青少年の野外自然体験、集団生活体験として事業の主旨に沿って実施しており、3泊4日の中で充実した事業を遂行しており、青少年の健全な育成を図っている。			
						WG	A	他部署主催事業との日程調整方法の検討を。			
						外部	A	1次評価のとおり			
				265	青少年活動事業の実施	1次	A	子ども会事業の充実はまちづくりの基礎的な事業であり、今後も青少年の健全育成を地域全体で担う必要がある。平成29年度に内容を強化したことで、子どもたちの育成・交流により効果が見られたことから、今後も内容の見直しを随時行いながら充実した取り組みに努める。			
						WG	A	1次評価のとおり			
						外部	A	1次評価のとおり			
				266	青少年育成組織の活性化とPTAとの連携	1次	A	青少年の健全育成を図るため、学校・地域・関係機関・団体等が連携協力し、啓発活動を強化しながら地域一体となった見守りや非行防止活動が必要のため、継続とする。			
						WG	A	1次評価のとおり			
						外部	A	1次評価のとおり			
				267	子どもの安全安心を守る活動推進	1次	A	青少年の健全育成を図るため、学校・地域・関係機関・団体等が連携協力し、啓発活動を強化しながら地域一体となった見守りや非行防止活動が必要のため、継続とする。			
						WG	A	1次評価のとおり			
						外部	A	1次評価のとおり			
				268	教育相談体制の充実	1次	A	児童生徒や保護者、関係者からの悩み、いじめ、不登校などの問題に対し、学校及び関係機関等と連携して適切な支援及び指導を継続して行う必要がある。			
						WG	A	1次評価のとおり			
						外部	A	1次評価のとおり			
				地域文化の継承と創造	1	文化芸術振興事業	272	文化講演会の開催	1次	B	著名な方を講師に招聘し多くの市民が講演会に参加したが、年50万円の予算では魅力ある事業づくりが困難であり、改善が求められている。
									WG	B	1次評価のとおり
									外部	B	隔年開催することで予算を集中するとともに、他の団体との共催も検討してはどうか。
				地域文化の継承と創造	1	文化芸術振興事業	274	公民館市民講座	1次	C	バイオリン体験教室の開催により、市民や講師が中心となり名寄市少年少女オーケストラが開設された。市民力による文化の向上につながる取り組みとなり、大きな成果があった。団体の開設により市が教室を開催するのではなく、団による取り組みへの側面的な支援に市としての取り組み方法を変化していくことで、市民力を活かしたまちづくりにつなげる。
									WG	A	講座の立ち上げからサークル等による自走化へと、うまく事業に取り組んでいると考える。引き続き市民が活動できる機会の提供を望む。
外部	C	1次評価のとおり									
2次	C	1次評価のとおり									
2	歴史や文化財の継承	276	地域の歴史、自然、文化に関する普及啓発		1次	A	現状維持を図るとともに、協力団体や道内博物館との連携を図り事業展開を進めて行く。				
					WG	A	1次評価のとおり				
					外部	A	1次評価のとおり				
					2次	A	1次評価のとおり				